

平成 29 年度 観光入込み数 増減要因

1 平成 29 年度の観光入込み数について

平成 29 年度の観光入込み数は 1,735,570 人で、31,112 人の減（前年比 98.2%）となった。

【内訳】〔宿泊者数〕	89,473 人	8,303 人の増	（前年比 110.2%）
〔日帰り客数〕	1,646,097 人	39,415 人の減	（前年比 97.7%）

2 増減要因の総括について

日帰り温泉におけるポロト温泉の閉館による大幅な減少があり、全体としては、31,112 人の減少となった。一方、白老・虎杖浜地区において、来道 FIT の増加による影響もあり、宿泊客は計 8,303 人の増加。白老地区における、新規出店増加による 38,395 人の増加が見られたことは今後の白老の可能性につながると考えられる。

3 地区別の主な増減要因

虎杖浜温泉地区（竹浦・虎杖浜地区）

虎杖浜温泉地区の全体の観光入込み数は 902,715 人で、17,048 人の減（前年比 98.1%）となった。

【虎杖浜温泉地区の増加要因】

「宿泊客（ホテル・旅館）」 83,197 人 7,219 人の増（前年比 109.5%）

- 再開した温泉宿泊施設や他の施設において外国人宿泊客の取り込みに成功したことにより宿泊客が増加となった。

「自然景観」 93,157 人 12,001 人の増（前年比 114.8%）

- 前年と比べ、通行止めとする機会も減少し、入込の増加につながった。

【虎杖浜温泉地区の減少要因】

「日帰り（ホテル・旅館）」 152,341 人 14,543 人の減（前年比 91.3%）

- 日帰り温泉施設の利用が大きく減少となった。

「飲食店・みやげ」 503,819 人 15,935 人の減（前年比 96.9%）

- 個人旅行者の増加により団体ツアーでの飲食店の利用が減少したため。

「スポーツ・レクリエーション」 58,294 人 7,313 人の減（前年比 88.9%）

- パークゴルフ場の利用者が減少したため。

白老地区（社台～北吉原地区）

白老地区の全体の観光入込み数は832,855人で、14,064人の減（前年比 98.3%）となった。

【白老地区の増加要因】

「宿泊客（ホテル・旅館）」 6,276人 1,084人の増（前年比 120.9%）
■ 工事関係者などの利用が増加したため。

「飲食店・みやげ」 417,379人 38,395人の増（前年比 110.1%）
■ 新規店舗が多く開業したことが増加につながった。

【白老地区の減少要因】

「日帰り（ホテル・旅館）」 153人 39,152人の減（前年比 0.4%）
■ 利用者が多い日帰り温泉施設が閉館となったため大幅な減少となった。

「自然景観」 11,884人 3,743人の減（前年比 76.0%）
■ 自然公園の利用者が減少したため。

「文化・歴史」 197,821人 3,796人の減（前年比 98.1%）
■ 仙台陣屋の利用者は伸びたが、アイヌ民族博物館の利用が減少したため。

「スポーツ・レクリエーション」 56,218人 9,163人の減（前年比 86.0%）
■ 該当するほとんどの施設が減少となったため。

「体験・ツーリズム」 11,773人 1,050人の減（前年比 91.8%）
■ 上期における体験施設の教育旅行の受入れが減少となったため。

4 アイヌ民族博物館について

下期 70,541人 915人の減（前年比 98.7%）

年間 192,840人 4,347人の減（前年比 97.8%）

8月、11月、3月以外の月は前年度の同月と比較した際、減少となった。閉館前の3月は閉館セレモニーなどもあり増加となったが、減少となった月が多かったため、全体としては減少となった。

5 訪日外国人観光客の増減要因

「宿泊客数」 11,131人 5,520人の増（前年比 198.4%）

北海道観光におけるFITの動きが活発化していることも相まって好影響を受ける形となった。さらに、リニューアルオープンした施設についてもFITの利用が顕著であった。

◎主な国籍 中国 3,754人、韓国 1,992人、香港 920人、台湾 849人

「アイヌ民族博物館」 70,062人 1,002人の減（前年比98.6%）

前年と比較し、韓国の来場者が多くあったがタイ、マレーシア、中国等において減少したため、全体として微減となった。

◎主な国籍 韓国41,736人、タイ6,164人、シンガポール4,662人、マレーシア3,317人、中国3,093人

6 過去5年間の入込客数の推移

平成25年度	1,734,182人	(33,023人	”	101.9%)
平成26年度	1,792,032人	(57,850人	”	103.3%)
平成27年度	1,814,511人	(22,479人	”	101.3%)
平成28年度	1,766,682人	(47,829人	”	97.4%)
平成29年度	1,735,570人	(▲31,112人	”	98.2%)